

<呼吸器センター外科>

GI0 (general instructional objective)

外科診療の基本的な知識・手技を身につけ、原発性肺癌、転移性肺腫瘍、炎症性肺疾患、気胸等の様々な肺疾患から胸腺腫やその他の縦隔腫瘍疾患を幅広く経験することにより、その病態、検査、治療方針、手術適応、手術実態（胸腔鏡手術から開胸手術）、術後管理を臨床的なマネジメントが行えるように幅広く学ぶ。

SBOs (specific behavioral objectives)

術前・周術期の全身評価を正確に把握し、適切に管理できる。患者、コメディカルのスタッフとも良好な人間関係を確立しチーム医療の一員として診療にあたることができる。

- (1) 病歴・身体所見・検査結果をもとに病態・治療方針の理解をする
- (2) 臨床所見・画像所見・採血所見をもとに適切な周術期管理が実施できる
- (3) 並存疾患を有する患者に対しては他科へコンサルテーションもとで管理ができる
- (4) 間質性肺炎・肺気腫・喘息といった呼吸器特有の並存疾患の病態把握および管理ができる。また指導医の下で人工呼吸器管理の理解・操作ができる。
- (5) ドレーン管理（ドレーン挿入等）・創部の評価や縫合ができる。
- (6) 手術に積極的に助手・術者として参加し、基本的な外科手技を学び外科専門医習得に必要な手術症例を経験する。また指導医のもと、自然気胸や肺生検の術者を経験することができる。

LS1(learning strategy 1) on the job training

- (1) 上級医の指導のもとで入院患者の診療を行う。
- (2) 呼吸音聴取等の身体診察、術前・術後患者の胸部レントゲン及びCTの画像評価、ドレーン管理。

LS2(leaning strategy 2) 勉強会・カンファランス・学会など

- (1) 呼吸器外科カンファ（1日2回）、部長回診（週1回）、呼吸器内科合同カンファ（週1回）での症例提示を行う。
- (2) 上級医の指導のもと勉強会（肺外科学研究会：月1回、他病院連携の勉強会）や学会（地方会）・海外学会・総会に参加し1回以上発表する。

週間予定

	午前	午後
月曜日	病棟カンファ、手術	手術、病棟カンファ
火曜日	病棟カンファ、手術	手術、病棟カンファ、勉強会(夕：月1回)
水曜日	病棟カンファ、外来	部長回診 気管支鏡検査(必要時のみ) 病理カンファ
木曜日	病棟カンファ、手術	手術/ 15:00～呼吸器内科合同カンファ 病棟カンファ
金曜日	病棟カンファ、手術/外来	手術、病棟カンファ

EV 評価

EPOC による評価方法(研修医⇄指導医)

※研修医は各分野の研修終了後、速やかにその分野の自己評価を行い、EPOC 評価システムに入力すること